

令和元年度 やまゆり知的障害児者生活サポート協会主催研修会企画

小山珠美氏講演会

Free
参加費無料

「おいしく楽しく食事を続けるために」

～だれもが、口から食べ続ける願いを実現したい！～

安全な食事介助の相互演習を行います

日時：令和元年 11月13日（水）

10：00～12：00（受付9：30～）

会場：神奈川県立かながわ労働プラザ 3階多目的ホールB

講師プロフィール

NPO法人 口から食べる幸せを守る会理事長 / 神奈川県厚生連伊勢原協同病院 摂食嚥下機能療法室 勤務
/ 日本看護学会所属 / 日本摂食嚥下リハビリテーション学会（評議員・認定士） / 看護師

- ・テレビ出演-NHKプロフェッショナル仕事の流儀-食べる喜びを、あきらめない-
- ・主な著書「口から食べる幸せを守る」（主婦の友社）

「おいしく食べ続けたい」（NPO法人 口から食べる幸せを守る会）

主催：一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会

構成団体：神奈川県手をつなぐ育成会

神奈川県知的障害施設団体連合会

特定非営利活動法人 横浜市手をつなぐ育成会

川崎市育成会手をむすぶ親の会

神奈川県知的障害者施設保護者会連合会

＜お問い合わせ・お申込み＞

やまゆり知的障害児者

生活サポート協会 事務局

電話 045-314-7716

FAX 045-324-0426

令和元年度第2回 やまゆり研修会 参加者状況

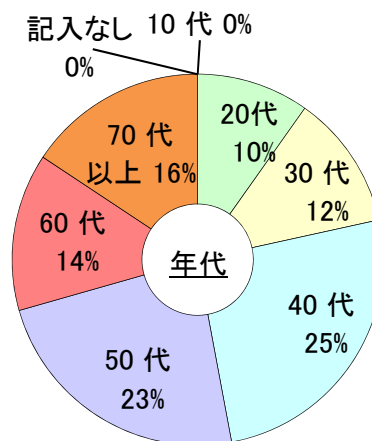
テーマ：『おいしく楽しく食事を続けるために』
～だれもが、口から食べ続ける願いを実現したい！～

講師：NPO法人口から食べる幸せを守る会理事長
神奈川県厚生連伊勢原共同病院 摂食嚥下機能療法室勤務(看護師)
小山 珠美氏

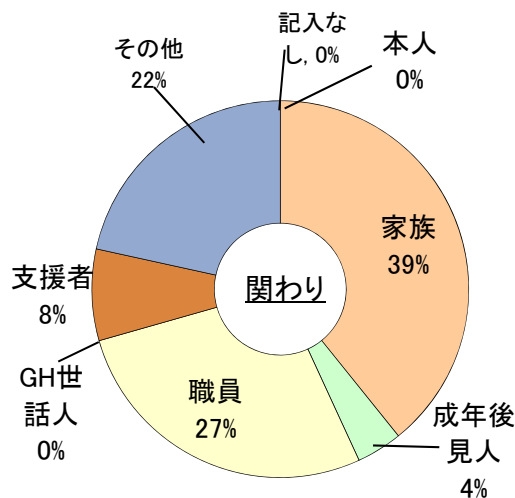
開催日時：令和元年 11月 13日(水) 10:00～12:00

会場：神奈川県立かながわ労働プラザ 3階多目的ホールB

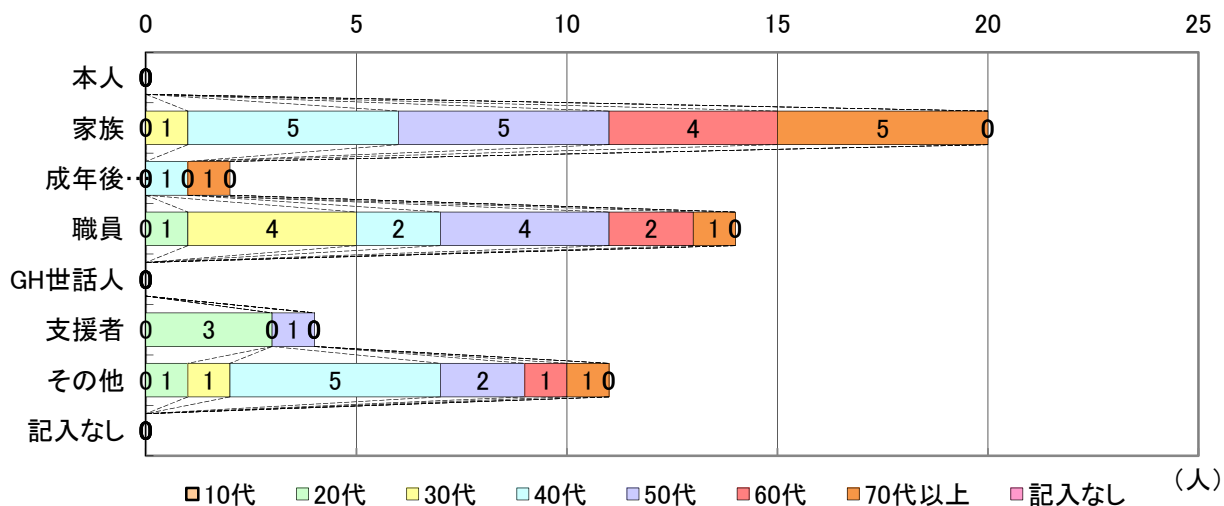
a - 年代	人数
10代	0
20代	5
30代	6
40代	13
50代	12
60代	7
70代以上	8
記入なし	0
合計	51



b - 関わり	人数
本人	0
家族	20
成年後見人	2
職員	14
GH世話人	0
支援者	4
その他	11
記入なし	0
合計	51



※複数選択あり その他: 歯科衛生士等

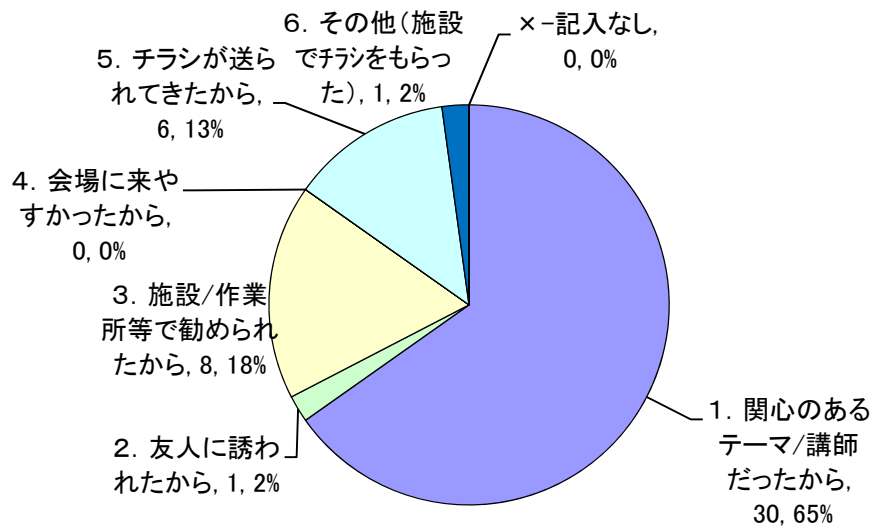


やまゆり生活サポート協会研修会 アンケート結果

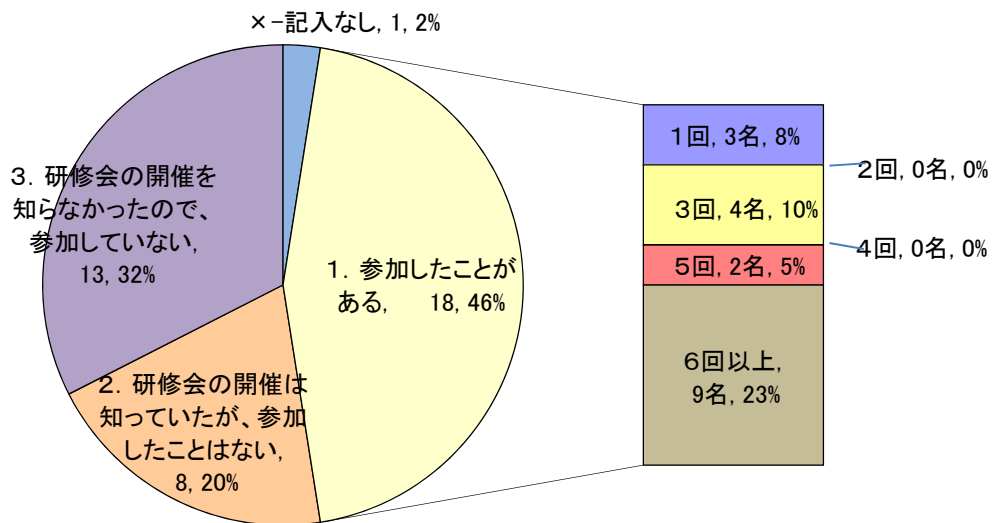
2019年 11月 13日(水) 開催

○参加者 51名、うち回答 40名でした。(回答率 78%)

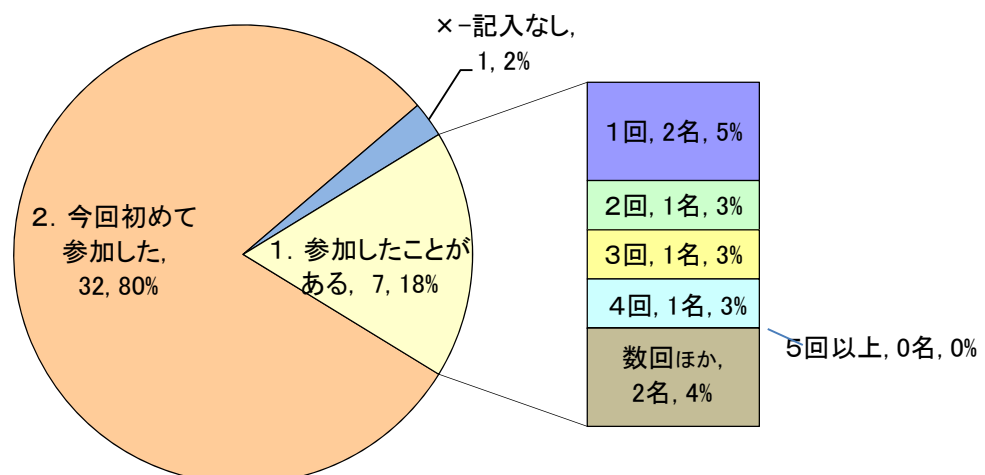
Q1. 今日の研修会への参加のきっかけをお聞かせください。(該当番号に○印を、1つまたは2つ)



Q2. 当協会ではH21年4月より研修会を開催するようになりました。これまでのやまゆり研修会に参加されたことはありますか？(該当番号に○印を1つ)



Q3. 今日の様な「安全な食事介助の相互演習等をテーマにした研修会(当協会開催以外)に、既に参加されたことはありますか？(該当番号に○印を1つ)



Q4. 今日の研修会についての感想をお聞かせください。（良かったこと、悪かったこと）

- 実際に食べたり、飲んだり、やってみる、すごーく勉強になりました。介護される側の気持ちも分かり、これからはちょっとしたことから気を付けて介助するようにします。他力本願はダメ！！ 神奈リハ入院中から小山さんから教えていただいた事だったので気づかさされました。そして今があります。入所施設にスプーンとテキスト渡します。
- とても有意義な時間でした！ 基本から学ぶことが出来、スライドもわかりやすく良かったです。自分も含め食べること（口で、自分で）の大切さを知りました。エンディングロールが泣けました。母にしてあげたかったです。
- 人間が生きていくため、最も大切で基本になるのは正常に食べられることであることを学ぶことができた。また、高齢者・障害者へ対応する場合についても併せて学ぶことができた。
- 時間丸々、すべてが勉強になりました。楽しかったです。今まで間違った認識があったのもわかった。
- 食事介助の重要性について認識することができました。又、食べることの大切さを改めて痛感しました。
- 誤嚥防止のための姿勢、食事介助の実践等、初めて知ることも多く勉強になった。
- 演習もあり、とても勉強になった。親の介助に生かしたい。「食べることは、幸せのひとつ」印象に残りました。
- 老人や入院患者の方々が食べ続けられるようにする大切さを知った。自分の両親の老齢期や末期の状況も思い出した。その時これを知っていたらとは思ったり自分の老齢期の参考にしたいと思う。
- 知的障害者には関係ないと思っていましたが、口の中の衛生等々複合した要因が重なった場合起こり得るとのこと、勉強になりました。演習がとてもためになった。食事介助を安易に考えてました。
- 食事の大切さを改めて考えるきっかけになりました。食べるのが楽しみな人の楽しみを奪わないよう安全な食時環境を作りたいと思いました。
- 摂食の開始は症状がなくなってからだと思っていたので、絶飲食は入院して2日、それ以降は食事をしながら治すということは驚きだった。
- 「家族が主体となって動いていく」等日常で忘れがちな事を思い出す事が出来良かったです。ありがとうございました。
- 基本的なことから誤嚥性肺炎のことが学べました。
- 誤嚥性肺炎についてのメカニズムについて理解することができた（今まで誤った認識をしていた）。これから先のためにやっておくこと、今からすぐやるべきことがよく理解できた。
- 知的障がい者施設に勤務していますが、食べることへの意識を持たせることが難しいと感じます。しかし、不適切介助は良く見るところです。少しでも長く食べることを続けるためにも介助者の大事な心得を伝えたい。あのエンドロールが全てを語っていると思います。
- 不良な食介助が招く患者様の苦痛を実際に体験出来て良かったです。今後の学びに活かしたいです。
- 食事介助の必要性、意義などから理解でき、実習もあったことでとても分かりやすかった。
- テキストを見つつ、演習もあったので分かりやすかった。説明も分かりやすくてためになりました。

た。

- 私の父がまさに要介護高齢者で胃ろうを作り、口からは何も飲食していません。一度目の入院ではなんとかトロミ食で退院することができました。しかし、1か月半後、誤嚥性肺炎で入院したとき、検査で全く切りかえができず、肺の方へ行ってしまふ・・・とのことで胃ろうになりました。元々脳梗塞があったため、マヒは仕方ない、とお医者さんから言われたら仕方ない・・・とあきらめていました。講演をうかがって、他の道があるんだ！と光がさした気がしました。本当にありがとうございました。
- とても参考になりました。
- あきらめないで食べる挑戦をしていきたい。祖母 93 才が絶水絶食状態で本当にそれが適切なのかと疑問に思い、今日、食べられると確信したので頑張ろうと思った。
- まさに今この様な問題は非常に多く、着手しなければならぬことでありながら、なかなかここに力を入れる体勢をとれていません。小さいことから、少しずつ勉強して、根気強く教育体勢をつくっていくいきっかけになりました。
- 食事介助について、インターネットで検索したことしかなかったので、直接専門家の先生に教えていただき、濃密でたくさんのことを学ぶことができました。ありがとうございました。
- 誤嚥性肺炎になる事が心配で口から食べるという事にばくぜんとした不安がありましたが、今日の研修会で正しく食べる事は幸せを守ることにつながっていく事が良くわかりました。
- 歯科衛生士です。訪問歯科・口腔ケアは行っていますが、直接嚥下訓練はハードルが高くまた、クリニックの事情的に行っていません。今回の研修で具体的知識が得られ大変ありがたく感謝いたします。又、大変勇気をいただきました。
- 口から食べる事の大切さを再認識しました。生きる源だとおもいました。適切な食事支援のポイントを学べて良かったです。施設でも実践したいと有意義な研修会でした。
- 実践が出来てよくわかりました。実践中に沢山メモしたい動作がありましたが、メモする間が無く少しゆっくり進めていただけたら有難かったです。（本を見て復習します）
- 口から食事を摂取することの大切さが分かり今後役に立つので参加して良かったです。
- とてもわかりやすく（実演）現場で挑戦しやすく胸の熱くなる研修でした。テキスト配布やスプーン販売も良かったです。
- 高齢の夫の父がいるので非常にためになりました。本人元気で食事をしているので、その意欲を損なわずに健康年齢を維持できるようサポートしたい。今までまちがった食べさせ方を子どもにしていたのだと初めて知りました。子の通っている施設にも聞かせてあげたい。
- 大変良かったです。
- 食事介助の経験は今までなかったのですが、今後の参考になることばかりでした。
- 食事を口から食べることの重要性を思い知ることができた。
- 今回実践をして、どのような食べ方や姿勢が良いのか改めて分かった今後施設に帰って実践していきたい。
- 今回は食事に関する研修会ということで参加をさせて頂きました。研修として基本的な部分から予防や今後どのようにサポートすべきか等演習を含めて知識として吸収することができました。次回、また研修ありましたら詳しくお話をうかがいたいと感じました。本日はありがとうございました。
- 食の大切さ、介助の必要性など多くのことを学ぶ機会になりました。生きているあいだはおい

しく食べ続けたいと支援したいと思います。

- 食べることの大切さを知ることができました。今後を考えるときに役立てようと思います。

Q5. 今後の研修会テーマ、講師、研修会開催場所・日時についてご希望をお聞かせ下さい。

- 親なき後の為に準備しておくこと。今日の場所も駅から近く分かりやすく来てやすかった。
- 知的障害のある人の家族としての心構え、対応など当事者の人材への配慮を含めて聞きたい。
- 研修テーマは会員の皆さんの希望を聞いて頂けるのでうれしいです。特にこれをとえば、幼児期の障害への向きあい方は聞きたいです。
- 朝の時間は通院ラッシュと重なるので、できれば午後（昼後）開催も検討してほしい。
- 小山珠美先生、牧野日和先生。
- 人間の最後「みとり」についてのテーマも良いと思います。場所や日時に関しては、今回のでよいと思います。
- 尿便の介護についてどうすれば良いか
- 研修は秋が参加しやすい。
- 小山先生のお話はいつも何度でも聞きたいくらい素晴らしいです。
- 今回、正直に言うとあまり自分には関係ないかなと思っていましたが、ものすごく勉強になりました。ありがとうございました。これからもこのような多方面からの切り口で目からうろこが落ちるような研修会をよろしく願います。
- 「かながわ労働プラザ」には、ブルーラインを利用して来ました。地図を見ながら来ましたが、ややわかりにくいと思いました。

Q6. やまゆり生活サポート協会への要望・意見等ございましたらお聞かせください。

- 研修会・講演など、神奈川に合ったものを（全国の取組みから）探して教えてほしい。
- いつもありがとうございます。丁寧で優しい方々ばかりで、心から感謝しています。
- 会場の協力で自分以外の方々をお助けできることはうれしいと思っています。自分ではなくても・・・。
- いつもありがとうございます。
- 素晴らしい講演会に参加させて頂きありがとうございました。
- とても有意義な市民講座でした。ありがとうございました。
- 今日は素晴らしい講演を開いて下さり本当にありがとうございました。
- この様な会を開催していただき心よりお礼申し上げます。
- 医療従事者ではない、一般の私達でも参加させていただき感謝しております。ありがとうございました。
- このような研修会を開催していただき、ありがとうございました。

以上